



独立行政法人 国立病院機構

村山医療センターニュース

理念

患者さんの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。

基本方針

患者さんの権利と意思を尊重します。
安全で優しいチーム医療を提供します。
倫理を重んじ高度で先進的な医療を提供します。
地域医療連携の促進を図ります。
骨・運動器疾患の臨床研究を推進します。
職員は研鑽に励み、健全な経営に努めます。

第52号
2016.1

発行責任者 院長 朝妻 孝仁

年 頭 の ご 挨拶

院長 朝妻 孝仁



皆様、新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしく願い申し上げます。

昨年度、当院の目標として 1) 念願の病棟建て替えを実現する。2) 内科および外科の診療体制を強化する。3) 医療サービスを向上する。4) 医療連携をさらに強化する。の4点を挙げさせていただきました。

昨年1年間を振り返ってみますと、まず病棟建て替えにつきましては、昨年3月に国立病院機構本部から、立て替え計画が承認され、早速、設計に取りかかりました。現在まで基本設計が終了し、年初より実施設計に入る予定です。当院が骨・運動器疾患に特化した病院であることを踏まえ、車イスを利用される患者さんにも快適に過ごして頂けるよう、従来より病室を広めにし、廊下も十分な幅を取るよう工夫しました。病床数303床は変わりませんが、現在、東と西に分かれている2つの病棟を1つに集約し、6階建てにする計画です。平成29年9月完成を目指しています。工事中は患者の皆様、近隣の皆様にはご迷惑をおかけするかとと思いますが、何卒よろしくご理解のほどお願い申し上げます。

次に内科および外科の診療体制強化ですが、昨今の医師不足、医師偏在の影響で、去年は新たな常勤医師を確保することができませんでした。昨年3月には、外科・一般消化器外科医として長年にわたり当院に貢献してきた瀬川副院長が定年退職したため、外科の診療を休診せざるを得ない状況になっていました。大変ご迷惑、ご不便をおかけしてきましたが、本年1月より非常勤医師による診療を週1回、火曜日に再開する運びになりました。今秋には常勤医師を招聘し、本格的に外科診療を行っていく予定です。

第三の医療サービスの向上ですが、患者の皆様から病院の建物や設備が古い、というご意見を頂きますが、前に述べましたように病棟の建替えに続いて、外来棟の立て替えも近い将来、視野に入れて努力をしていきたいと思っております。また、本年3月1日より、電子カルテの運用を開始する予定です。これにより、より speedy, smooth に診療、事務手続きが行われることが期待されます。

第四の医療連携のさらなる強化ですが、去年は当院主催の医療連携を目的とした講演会、セミナーを2回開催しました。地域の病院、診療所の多くの皆様にご参加いただきこの場を借りて心より御礼申し上げます。本年も同様の企画を考えています。

2年前よりホームページ充実に努めてまいりましたが、頻繁に更新を行い、最新の情報を提供させて頂いています。御陰様で3年前に月、約700件であったアクセス数が現在、年間約2万件に達しています。医師からのみならず、多職種からの情報を掲載していますので、是非ご覧いただければ幸いです。

本年も“患者さんの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。”という当院の理念に基づき、職員一同頑張っていきたいと思っておりますので、何卒よろしく願い申し上げます。

村山医療センターのさらなる充実に向けて

院長 朝妻 孝仁

村山医療センターではさらなる発展をめざして努力しております。そのいくつかをご紹介します。まず、第一に新病棟建設が決定いたしました。当院は昭和30年代からの病棟をなんとか維持してまいりましたが、老朽化にともない平成29年夏に新病棟に引っ越し予定で計画中です。地上6階建てで303床の新病棟を敷地内に建設することになりました。新病棟は車椅子の患者さんでも快適な入院生活を過ごせるようにベッドサイドの空間を確保し、骨・運動器治療の専門病院としての機能を果たせるよう検討されております。



新病棟パース図

第二に電子カルテの導入です。現在多くの病院では電子カルテ化が行われておりますが、当院でもようやく本年3月に導入する予定となりました。これにより、医療スタッフの負担が軽減されれば、より診療に力をそそぐことが可能となるものと思われま

す。手術室にもさらなる充実が行われました。平成27年8月、かねてより念願であった術中ナビゲーションと術中3DCTが導入されました。これにより手術中に患者さんのCT画像を撮影し、どこに固定のスクリューを挿入することができるのか、十分な脊髄の除圧が行われて

いるのか、術者に適格に情報を提供することを可能としました。より安全で低侵襲な手術術式を行うことができることになりました。

さらに、平成27年9月からはヘッドマウントディスプレイという近未来型画像支援システムが導入されました。これは手術中に術者の頭部に固定されたディスプレイに画像が表示されるため、術者は術野から眼を放すことなく手術に没頭できるという新システムです。ナビゲーションと術中透視の画像をこのシステムで映し出すのは村山医療センターのオリジナルです。



ナビゲーションを利用した上位頸椎固定術



近未来型画像支援システム・ヘッドマウントディスプレイ

臨床・基礎研究の部門でも発展しております。当院はかねてより脊髄損傷治療の専門施設として機能してきました。近年は亜急性期から慢性期のリハビリを4人のリハビリ科医師により積極的に行ってまいりました。これまでは慶應義塾大学病院とともに脊髄損傷に関する基礎研究を行っていましたが、このたび新潟病院が主体となって行っているHALロボットスーツの臨床研究を脊髄損傷に応用して治験を開始することになりました。まずは慢性期の患者さんに対する適応から検討していきます。さらに今後は急性期の脊髄損傷治療にも積極的に貢献していけるよう院内外での調整中です。ゆくゆくは損傷脊髄に対するiPS細胞の移植まで視野に入れております。

おかげさまで昨年の脊椎手術は約700件と増加しており、下肢人工関節手術も170件となりました。昨年10月より上肢・手の外科の外来も開設されました。さらに本年1月には下肢関節班のスタッフも増員し、これまで対応がむずかしかった上肢の症例や、長い間手術を待っていた下肢人工関節の症例にも積極的に対応できるようになるものと思います。外来では患者さんの待ち時間を少なくできるよう努力しておりますが、いまだ混雑は改善されておりません。しかし、初診の電話予約、ホームページからのネット予約は順調に機能しております。遠方からこられる方などには是非予約をしていただくのがよいかと思います。当院はこれからも皆様のご期待にそえるよう努力、改善してまいりますので今後とも宜しく願いいたします。

☆ 新任スタッフ紹介 ☆



整形外科医師 大祢 英昭（おおね ひであき）

7月から赴任しました大祢英昭と申します。主に脊椎脊髄疾患を中心に担当させていただきます。誠意ある仕事を心がけていきます。至らない点もあるかと思いますが、どうか宜しく願いいたします。



整形外科医長 小見山 貴継（こみやま たかつぐ）

10月1日より赴任して参りました。手の外科・脊椎脊髄疾患を中心に、患者さんが安心できる確実なサービスをと心掛けております。当院では高度な医療を学べる機会を頂いたので一生懸命頑張ります。ご指導のほどよろしく願い申し上げます。因みに趣味は筋トレです。興味ある方は男女問わず、一緒にやりませんか？日頃のストレス解消にはうってつけですよ！



臨床研究部長 吉原 愛雄（よしはら やすお）

1月1日付けで臨床研究部長を拝命いたしました吉原愛雄と申します。防衛医科大学校整形外科より参りました。これまで股関節の臨床と若手医師の育成に携わって参りましたが、これからは診療に加えて臨床研究のマネジメントを担当させていただきます。村山医療センターは全国でも有数の骨・運動器疾患の中核施設と伺っております。伝統ある村山医療センターのさらなる発展に少しでも貢献できますよう微力ながら努力していく所存です。不慣れな点が多々あると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。



9病棟 永井 千草

現在、私は地域包括ケア病棟に勤務しています。今回の研修では、骨運動器疾患の知識や看護をはじめ、リハビリテーション、退院支援に至るまで幅広い講義がありました。当院は骨運動器に特化した病院であり、北は青森、南は鹿児島まで全国から研修生が集まりグループディスカッションや三日間の講義を通して、他病院の看護の提供の仕方や工夫している点など話し合い、交流することで知識を深めることができました。

基礎的疾患の知識については講義を聴き、新たな発見があり、特に手術室見学や整形外科手術に対し当院が導入している近未来的な最新装置の体験や、術式について実際の模型を使用し説明があったため非常にわかりやすい内容でした。解剖や術式を再認識することで患者の状態把握もしやすくなる為、今後術後の患者を看護する際役立てていけると思います。

患者さんは安心して退院できるよう援助し、調整を行っていく必要があります。研修を通して他職種との連携方法や、患者さまと同じ目線で退院後の生活をイメージし、自宅へ帰っても困らないように生活する為にどうしたらいいのか改めて考えさせられるいい機会となりました。

これからはチームとして退院支援に対する意識が向上できるよう、この学びをいかしていきたいです。



<手術室では模型を使った手術方法の説明を受けました。>



<食事用の装具を体験してみました。>



<グループワークでは、活発に意見交換できました。>



クリスマスコンサート



村山医療センターは、毎年12月にクリスマスのイベントとしてキャンドルサービスとコンサートを行っています。

1 2月10日のキャンドルサービスは、昭和の森看護学校の看護学生さんが、病棟で元気な歌声を響かせてくれました。サンタクロースの衣装を纏った男子学生も混じり日常と違い暗くした病棟にペン型のキャンドルが揺れる中、手作りのクリスマスカードを患者さん一人一人に渡していただきました。患者さんの笑顔でスタッフの心も温かくなりました。



12月19日のクリスマスコンサートは、ルーテル学院大学の聖歌隊の学生さん10名に来ていただきリハビリテーション室で行われました。会場には、約100名の患者さんと御家族の方がお集まりでした。その歌声は、教会にいるのではと思う程で、清らかな賛美歌が続き心は洗われるようでした。また学生さんと一緒にふるさとを合唱したり、アンコールに応じてくださったり楽しいひとときでした。コンサート後も、6病棟で歌っていただき、闘病の励ましになりました。



ドクタークラークの紹介

さて、みなさんは、ドクタークラークという仕事をご存知ですか？

病院には、いろいろな仕事をしている人達があります。

今回は、医師達のサポート役ドクタークラークの紹介をします。

現在、村山医療センターでは、ドクタークラークとして6人の女性職員が働いています。

主な仕事は、医師が書かなければいけない膨大な書類の仕事のお手伝いです。

入院証明、保険関係の書類、様々な申請の書類、紹介状やそのお返事など

山ほどある書類を医師が書きやすいように体裁を整えます。

また、患者さんが入院すると、担当医師はたくさんの指示を出す必要があります。

関係書類を整え、医師が遅滞なく指示をだせるよう準備します。

外来診療でも仕事があります。現在は、初診医師につきそい、患者さんの案内、診察の

お手伝いを行います。

さらに重要な仕事が研究のお手伝いです。

村山医療センターの医師は、日常の臨床に加えて様々な研究を行っています。

患者さんのデータを集計し、レントゲンの計測を行い、患者さんの治療結果の満足度などをアンケート調査します。

これからも病院が患者さんにしっかりした治療を行いよりよい医療を提供していく為に日々がんばっていきます。



栄養管理室長 近藤 純子

一昨年12月に行った市民公開講座「骨粗鬆症ってなんだろう」で話した栄養に関する内容4回シリーズの2回目です。今回はビタミンDについてですが、まずは前回の「カルシウム」についておさらいをしておきますね。

カルシウムの約99%は骨や歯に含まれますが、不足すると血液中の濃度を一定に保とうと溶け出すため、血液検査では必要な量がとれているかわかりません。不足しないように普段から乳製品や小魚、桜エビだけではなく大豆製品や海そう、緑の野菜などカルシウムを多く含む食品を組み合わせましょう、とお伝えしたのですが、今回の「ビタミンD」はどのような食べものに含まれているのでしょうか。

ビタミンというと野菜やくだものをイメージされる方も多いのですが、これらには含まれず、キノコやさかな、卵などに含まれております。油と一緒にとることで吸収されますので「さけ」や「にしん」、「サバ」や「うなぎ」など脂ののった魚がおすすすめです。

紫外線にあたることで皮膚でもつくられますから、家に閉じこもりっきりの場合は太陽を感じる程度の窓越しで過ごす時間を作ってはいかがでしょうか。ビタミンD摂取の目安量は18歳以上の男女とも5.5 μ gと、とても微量ではありますが大事な栄養素です。



前回のレシピにある「すりごま」について質問がありましたので補足します。ごまは固い殻に覆（おお）われていますので、そのままでは体に吸収されにくいのです。カルシウムが多いごまの成分を体の中に取り込むためには「する」ことがポイントです。

**** 簡単レシピ ****

サケとキノコのホイル蒸し

材料

小松菜 : 100g
キノコ : 50g
(しいたけ、えのき、まいたけ、
エリンギなどお好みで)
しらす : ひとつまみ
卵 : 1個
サラダ油 : 適量
塩・こしょう : 少々

作り方

油をひいた鍋でざく切りにした「小松菜」と「キノコ」を炒めたら「しらす」を加えます。しらすの塩加減をみながら塩とこしょうで味付けをして、溶き卵を加えます。

(カルシウム約220mg

ビタミンD約4.8 μ gとれます)

**** ** ** **

外 来 診 療 担 当 医 師

■ 一 般 外 来

※受付時間 (初診:8時30分～11時まで)
再診:8時30分～12時まで

平成28年1月1日現在

診療科等		月	火	水	木	金	備 考	
内 科		片 寄	岡 田	片 寄	岡 田	岡 田		
外 科			大 石					
整形 外科	再 診	脊 椎	○朝妻 ○竹光	◎谷戸 ◎藤吉	○○金子 ○八木	◎許斐	小見山 大 祢	◎脊髄損傷 ○側弯 脊椎・脊髄 (頸椎・胸椎・腰椎)
		関 節	中 村		窪 田	吉 原	笹 崎	股・膝関節・下肢
		一 般		平 賀				
	初 診	交 替 制						
リハビリテーション科		渡 部	植 村	倉 片		交替制(※) (第4・5金は休診)	※第1金…倉片 第2金…植村 第3金…渡部	
歯 科		宮 本	宮 本	宮 本	宮 本	宮 本	予約制	

■ 専 門 外 来

※受付時間 13時～

診療科等		月	火	水	木	金	備 考
内科リウマチ					片 寄 (13:00～)		
側 弯		齋 藤 (第4週のみ)		八 木 (13:30-15時)	金 子 (第2・4週14-17時)	八 木 (第2・4週15-17時)	予約制
装具外来 (リハ棟)		植村/倉片/ 渡部					予約制
検 査	超音波	頸部・甲状腺/腹部・骨盤					予約制
		下肢(病棟)	下肢(外来)	下肢(外来)	下肢(外来)	下肢(病棟)	予約制
	消化管造影 検査						予約制

※循環器科、泌尿器科、皮膚科、精神科については、一般外来を行っておりません。

診療について

診 療 日 月曜日～金曜日(祝日及び年末年始は除く)
診療受付時間 初診の方 午前8時30分～午前11時00分
再診の方 午前8時30分～午前12時00分

※急患は(整形外科) 随時受付けております。
専門外来については医事窓口にてお問合せ下さい。
毎月初めに保険証の提示をお願いします。変更のあった場合はお知らせ下さい。

独立行政法人国立病院機構 村山医療センター
〒208-0011 東京都武蔵村山市学園2-37-1
TEL 042-561-1221(代) FAX 042-564-2210
URL : <http://www.murayama-hosp.jp/>